

ラダーのレベル別到達目標  育成したい能力と 各能力別ねらい		レベルⅠ	レベルⅡ
			①業務基準に沿いながら基本的看護ケアが実践できる。 ②メンバーの力をかりて個別性のある看護展開ができる。 ③看護師が人の命と生活に影響を及ぼす専門職であることを自覚し、責任を持って仕事に臨むことができる。 ④社会人としての自覚を持ち、自己の健康管理ができる。 ⑤勤医協綱領・院所の医療福祉宣言・看護理念を学び理解する。
看護実践能力	患者の医療要求に応じ基本的人権を尊重した専門的知識・技術を用い安全安楽に看護サービスを提供できる能力。 患者を生活と労働の場でとらえ、患者を生きる主体者として看護展開できる能力。 看護理念に基づいた行動ができる能力。	①看護技術基準・手順に基づいて日常生活援助の基本的技術を安全・安楽・確実に実践できる。 ②看護記録がガイドラインに基づき記録できる。 ③標準な事例に対して看護展開できる。 ④患者の急変時は、指示を受け行動できる。 ⑤倫理的な判断や配慮がわかり、相談できる。	①患者家族と目標を共有し、個別性ある看護過程が展開できる。 ②看護技術を患者に合わせ創意工夫できる。 ③支援を受け、患者の急変に対応できる。 ④適切な倫理観をもち自己の考えを述べるができる。
組織管理能力	適切な看護を提供するために看護師に求められている役割や責務を果たす能力。 勤医協の職員として、綱領の立場にたった看護実践ができる能力。 地域の人々の生活と健康を守る運動を進める能力。	①院所・セクションの特殊性や役割が理解できる。 ②チームメンバーとしての役割がわかる。 ③所属の目標達成のため部会・各種委員会に参加する。 ④勤医協の医療活動・運動を知る。	①セクション全体を見ながら、担当の看護業務を実践し、必要時チームの業務にも協力できる。 ②リーダーシップを学び理解し、グループリーダーの役割を果たす。 ③勤医協の医療活動、運動に参加する。
人間関係形成能力(コミュニケーション能力)	民主的集団医療チームの一員としてのマネジメント能力。 医療・看護・介護を共同の営みとして追及する能力。	①看護実践の遂行や自己の成長のために、同僚・先輩・上司の支援を受けることができ、悩みを相談できる。 ②正しい言葉をつかい、適切な接遇ができる。 ③自分の感情・思考・行動を振り返り自分の傾向を知ることができる。 ④自己のメンタル管理ができる。	①患者を中心にすえ民主的チーム医療のために、同僚、多職種とコミュニケーションが十分図られ良い人間関係ができる。 ②カンファレンスで積極的に発言できる。 ③部署の問題に気づき、現状を分析し解決策を考えることができる。 ④自己のメンタル管理ができる。
学習・教育・研究能力	常に学ぶ姿勢を忘れずに看護に必要な知識・技術を主体的に学ぶ能力。	①研修やセクションの学習会に主体的に参加し学習できる。 ②指導を受けながら、学生の実習や看護体験に協力ができる。 ③根拠をもった看護をするための基礎的な知識を学ぶ。	①看護研究に主体的に取り組むことができる。 ②研修で学んだことをチームに発表できる。 ③院内外の研修に自主的・積極的に参加し学習する。
学習文献		* 看護師の倫理綱領 (2003年日本看護協会) * 日本国憲法 * 新版「明日をひらく社会保障」医療・社会保障の拡充をめざして	* 看護師の倫理綱領 (2003年日本看護協会) * 日本国憲法 * 新版「明日をひらく社会保障」医療・社会保障の拡充をめざして
		* 民連綱領・規約・歴史のはなし * 民医連新聞・勤医協新聞	* 看護と介護60周年号V. O. 1. 36 * 看護過程に関する本1冊 * 23年間の北海道民医連看護学会のとりくみから (1997年民医連医療創刊300号記念)